

ABOUT | 本プロジェクトについて

愛知県は、全国に先駆けて2016年度から自動運転の実証実験を重ね、自動運転技術の向上とともに、ビジネスモデルの構築や社会的受容性の醸成を図ってきました。

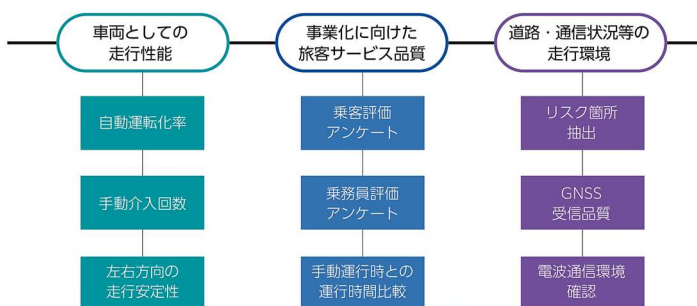
2022年度からは中部国際空港（常滑市）エリアにおいて自動運転の実証実験に取り組み、2024年度には、中型バス車両による高速道路走行を全国で初めて実施しました。

2025年度は、中部国際空港へアクセスする高速道路において、大型観光バスタイプ車両を高速域（時速80km）で走行させる全国初の実証実験を実施します。



FEATURES | 実証ポイント

大型観光バス車両を使用した、高速域（時速80km）での走行実証は全国初の試みです。セーフティドライバーが運転席に座り、ハンズオフで走行する自動運転レベル2で、「車両としての走行性能」「事業化に向けた旅客サービス品質」「道路・通信状況等の走行環境」の3点から検証を行い、自動運転高速バスの実現に向けた取り組みを進めてまいります。



PROJECT GOAL | 本プロジェクトで目指すもの

2024 年度	2025 年度	将来展望
---------	---------	------



中型車両を使用した連絡橋における高速走行の安定性検証



大型観光バスタイプ車両での高速域における走行検証



- 一般旅客を対象とした実証実験の実施による走行実績の蓄積
- 有償での実証運行
- レベル4許認可取得による乗務員負担の軽減
- 県内外の事業者と連携による、より長距離路線への展開

For Our Future....

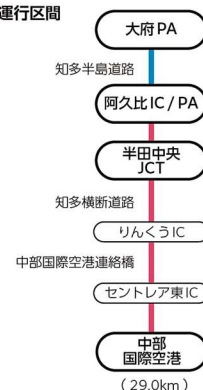
DATA | 実証概要

■期間

2025年9月～12月

（準備走行、調律走行、招待者試乗、運行区間拡大に向けたデータ取得走行 計45日程度）

■運行区間



※自動走行は以下の区間となります
(下り) 阿久比 PA～中部国際空港(16.5km)
(上り) 中部国際空港～阿久比 IC(16.1km)
※次年度以降、運行区間の拡大を検討中



■自動運転レベル

レベル2（セーフティドライバーが乗車）



■走行ルート概要



— 自動走行区間 — 手動走行区間
※運行区間拡大に向けたデータ取得走行

